

2025年度 第1四半期 京都ものづくり中小企業景況調査

原材料等の高騰、米国関税の影響から先行き不透明感拡大 受注見通しDI▲21.1 下振れ顕著

調査対象期間 2025年4月～2025年6月（2025年6月末集計）

調査対象企業 300社 回答企業数 253社（回答率 84.3%）

<概況>

- ・受注見通しの業況判断DIが▲21.1となり、約5年前の2020年第2四半期▲39.2以来の悪化水準となった。
- ・景況不況による受注不振の中、原材料・燃料・人件費等の高騰に応じた価格転嫁や価格交渉が依然困難な状況。
- ・目下の受注量や受注単価に改善の動きはある一方、来期の受注見通しが無いという声も聞こえ、米国関税の影響も相まって、景気先行きの不透明感が拡大している状況。
- ・米国関税については、調査実施以降に日米協議による合意に至ったものの、今後も価格転嫁や受注見通しに相当の困難が伴うと予想され、引き続き府内中小企業者への影響を注意深く見守っていく必要がある。

調査対象企業300社のうち20社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施

〔全体的な景況感〕

- ・3か月スパンで動く受注の話が進んでおらず、来期（9月）の見通しがつかめない。
- ・金属加工においては中小型設備向けの発注が減少し、競争過多になっており、受注単価が上がらない。
- ・原材料分の価格交渉はできるものの、人件費や光熱費分まで価格転嫁できていない。
- ・特にサプライチェーンの末端企業においては、原材料分すらも価格交渉できていないケースもみられる。
- ・価格転嫁による転注リスクを懸念し、経費削減で対応せざるを得なくなり、経営に悪影響を及ぼしている。
- ・業界全体の仕事量が減少する中、企業間での受注獲得競争が激化し、価格面で厳しい状況に追い詰められている。
- ・コロナ禍の間に蓄積した過剰在庫解消の動きが見られるとともに、一時期は米国関税前の駆け込み需要もあったが、現在は、関税の行方を見据えて様子見となり、受注もストップしている。
- ・新製品については直近の物価情勢に適応した価格を認めてもらえるが、リピート品についての価格転嫁は難しい。
- ・機械部品調達のアプローチの浸透化により、グローバル規模で価格競争が生じ、受注困難となっている。
- ・一部、AI、スーパーコンピューター関連の受注が増えてきており、インフラ関係でも一定量の受注がある。

〔半導体関連〕

- ・半導体設備部品生産企業から期待の大きいパワー半導体関連では、自動車のEV化が足踏み状態であることから、半導体メーカーの工場立ち上げ・設備投資が後倒しになり、それに伴って関連設備部品の発注が遅れている。

〔自動車関連〕

- ・メーカーの部品共通化が進み、部品の種類数が減少していることから、集約して受注しないと失注してしまう。
- ・一部の国内大手メーカーは米国関税の影響で生産を様子見しており、同メーカー向けの組み立て機械や電子部品などの受注が完全にストップしている。

〔米国関税の行方〕

- ・現時点での直接の影響を受けている企業は少ないが、先行きの不透明感から設備投資等の新たな動きは抑えられている状況にあり、周辺の企業からも「良い影響が出ることはないだろう」との声が多い。

<DI値（概要）>

	今期DI	前期DI	前回比	記号
受注量	▲17.4	▲24.1	6.7	↗
受注見通し	▲21.1	▲18.0	▲3.1	↘
受注単価	7.2	3.9	3.3	↗
資金繰り	▲7.5	▲8.9	1.4	↗
採算状況	▲1.6	▲0.8	▲0.8	↘
受注余力	50.0	48.8	1.2	↗

<受注見通しDIの推移>

調査時点 (年度)	2025	2024				2023				2022	
	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12
DI	▲21.1	▲18.0	▲11.7	▲4.5	▲12.3	▲14.3	▲16.1	▲7.8	▲6.2	▲12.1	▲0.4

2022		2021				2020			
7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6
1.6	▲2.0	▲5.3	6.7	▲0.4	▲5.9	▲9.3	▲13.1	▲39.2	▲62.4

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2025年6月末日現在

(4) 調査方法

WEBフォーマットによるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

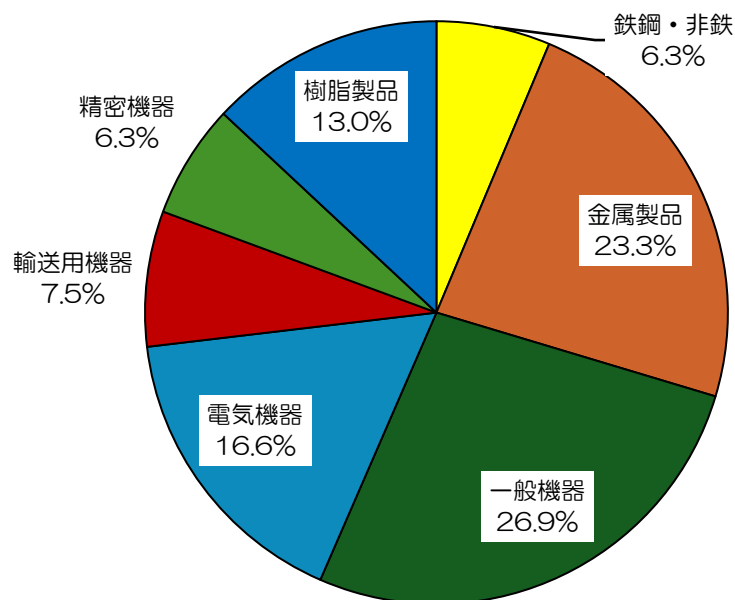
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300 社		
② 回答企業	253 社		
③ 内訳	鉄鋼・非鉄関係	16 社	（ 6.3% ）
	金属製品関係	59 社	（ 23.3% ）
	一般機器関係	68 社	（ 26.9% ）
	電気機器関係	42 社	（ 16.6% ）
	輸送用機器関係	19 社	（ 7.5% ）
	精密機器関係	16 社	（ 6.3% ）
	樹脂製品関係	33 社	（ 13.0% ）
④ 回答率	84.3 %	〔前回：86.0%〕	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	4 1.6%		1 1.7%		1 2.4%			2 6.1%
～300万円	20 7.9%		7 11.9%	3 4.4%	2 4.8%	2 10.5%	2 12.5%	4 12.1%
301～999万円	13 5.1%		3 5.1%	7 10.3%		1 5.3%		2 6.1%
1000～2000万円	139 54.9%	10 62.5%	33 55.9%	38 55.9%	24 57.1%	9 47.4%	9 56.3%	16 48.5%
2001～5000万円	60 23.7%	5 31.3%	14 23.7%	16 23.5%	11 26.2%	4 21.1%	3 18.8%	7 21.2%
5000万円超	17 6.7%	1 6.3%	1 1.7%	4 5.9%	4 9.5%	3 15.8%	2 12.5%	2 6.1%
合 計	253 100%	16 100%	59 100%	68 100%	42 100%	19 100%	16 100%	33 100%

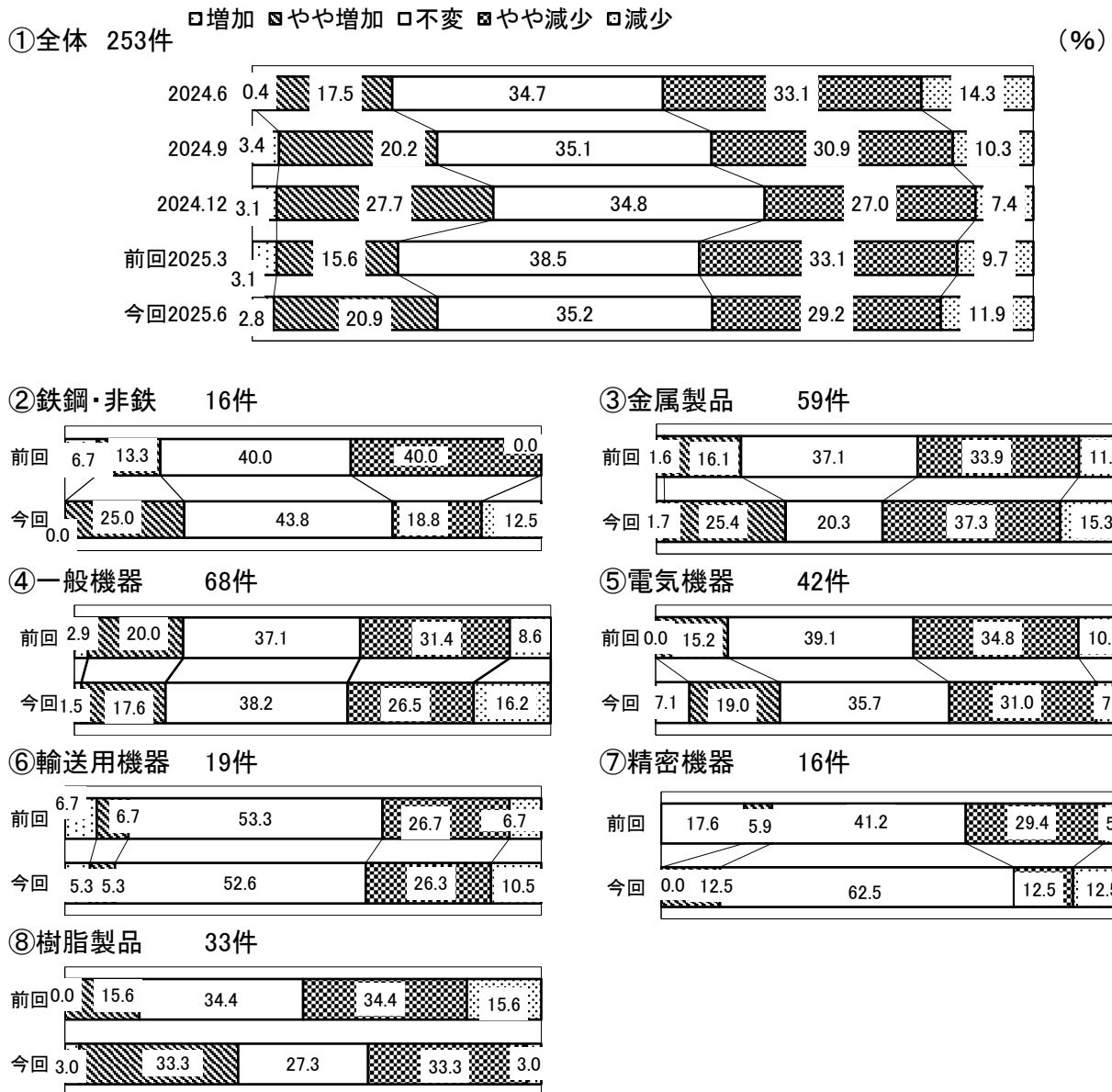
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1～5人	19 7.5%	3 18.8%	3 5.1%	7 10.3%	2 4.8%	1 5.3%		3 9.1%
6～10人	33 13.0%	1 6.3%	5 8.5%	10 14.7%	6 14.3%	2 10.5%	4 25.0%	5 15.2%
11～20人	59 23.3%	3 18.8%	16 27.1%	18 26.5%	10 23.8%	2 10.5%	3 18.8%	7 21.2%
21～30人	40 15.8%	3 18.8%	14 23.7%	12 17.6%	3 7.1%	2 10.5%	1 6.3%	5 15.2%
31～50人	44 17.4%	4 25.0%	8 13.6%	10 14.7%	10 23.8%	5 26.3%	3 18.8%	4 12.1%
51人以上	58 22.9%	2 12.5%	13 22.0%	11 16.2%	11 26.2%	7 36.8%	5 31.3%	9 27.3%
合 計	253 100%	16 100%	59 100%	68 100%	42 100%	19 100%	16 100%	33 100%

3. 調査結果

(1) 受注量について



○全体

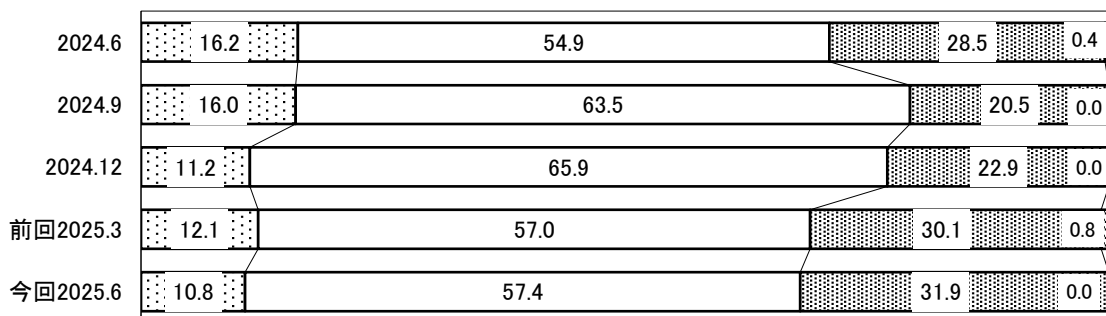
- ・4月～6月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲17.4となり、前期（1月～3月期）のD I 値▲24.1と比べ6.7ポイント増加と、前回調査時より改善した。

○業種別

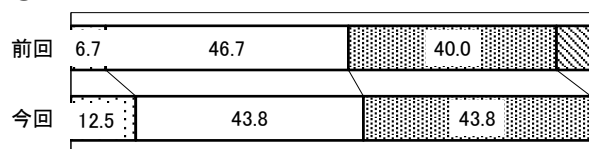
- ・D I 値は、鉄鋼・非鉄（▲6.3）、電気機器（▲12.0）、精密機器（▲12.5）、一般機器（▲23.6）、金属製品（▲25.5）、輸送用機器（▲26.2）の6業種でマイナスとなり、樹脂製品の1業種で±0となった。
- ・D I 値を前回と比較すると、樹脂製品（34.4ポイント）、電気機器（18.5ポイント）、鉄鋼・非鉄（13.7ポイント）、金属製品（2.0ポイント）の4業種でプラスとなり、精密機器（▲0.7ポイント）、輸送用機器（▲6.2ポイント）、一般機器（▲6.5ポイント）の3業種でマイナスとなった。

(2) 受注量の見通しについて（3ヶ月先について調査）

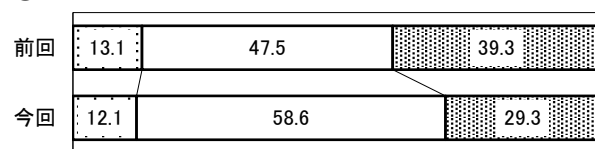
①全体 251件 □増加 □不変 □減少 □不明 （％）



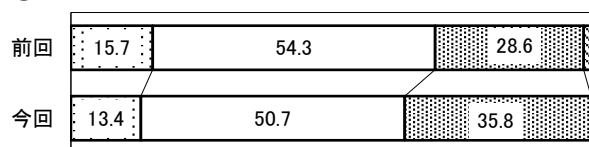
②鉄鋼・非鉄 16件



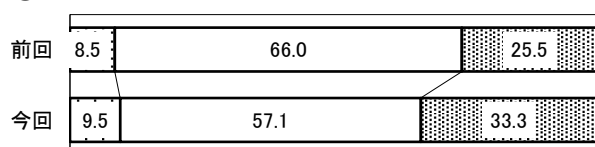
③金属製品 58件



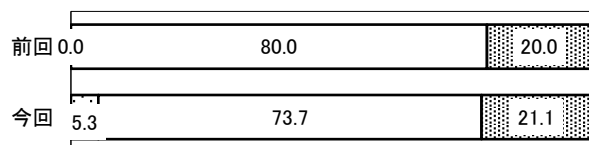
④一般機器 67件



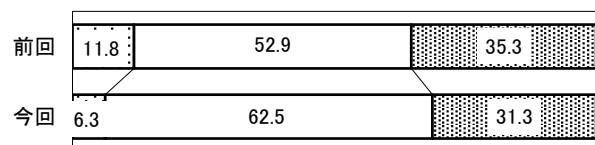
⑤電気機器 42件



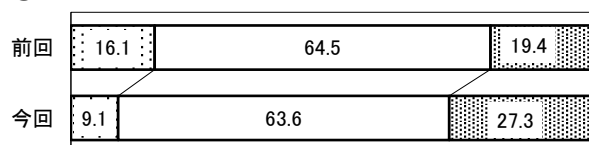
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 33件



○全体

- 次期（7月～9月期）の受注量見通しの業況判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲21.1となり、前期（1～3月期）のD I値▲18.0と比べ3.1ポイント減少し、前回調査時より悪化した。

○業種別

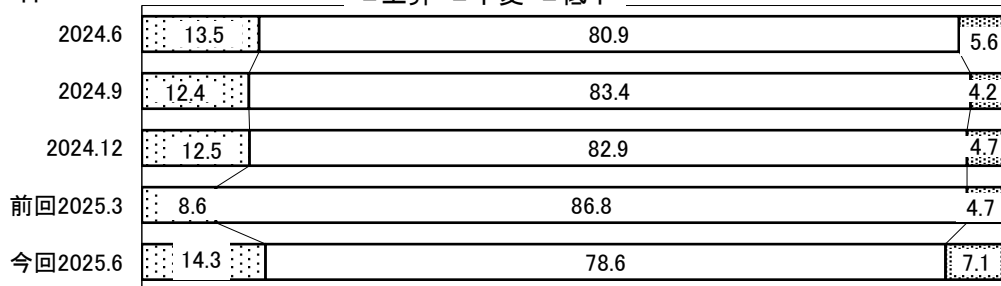
- D I値は、輸送用機器（▲15.8）、金属製品（▲17.2）、樹脂製品（▲18.2）、一般機器（▲22.4）、電気機器（▲23.8）、精密機器（▲25.0）、鉄鋼・非鉄（▲31.3）の7業種全てでマイナスとなった。
- D I値を前回と比較すると、金属製品（9.0ポイント）、輸送用機器（4.2ポイント）、鉄鋼・非鉄（2.0ポイント）の3業種でプラスとなり、精密機器（▲1.5ポイント）、電気機器（▲6.8ポイント）、一般機器（▲9.5ポイント）、樹脂製品（▲14.9ポイント）の4業種でマイナスとなった。

(3) 受注単価について

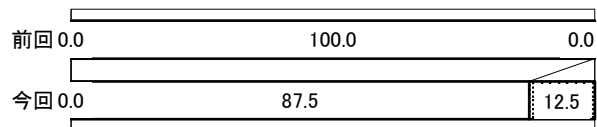
(%)

①全体 252件

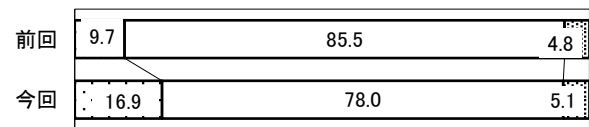
□上昇 □不変 ■低下



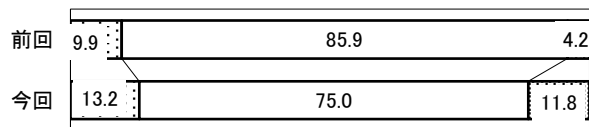
②鉄鋼・非鉄 16件



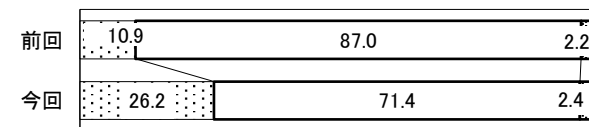
③金属製品 59件



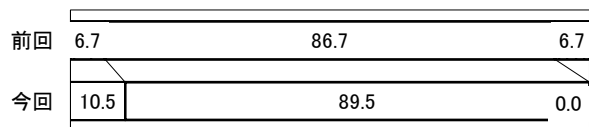
④一般機器 68件



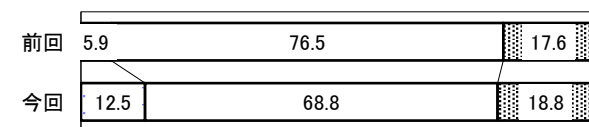
⑤電気機器 42件



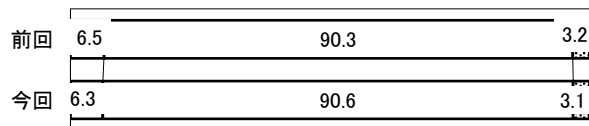
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 32件



○全体

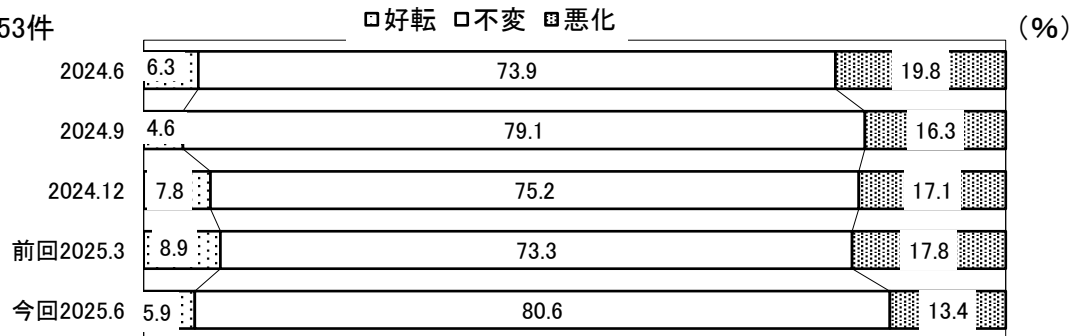
- ・4月～6月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）7.2となり、前期（1月～3月期）のD I 値3.9と比べて3.3ポイント増加し、前回調査時より改善した。

○業種別

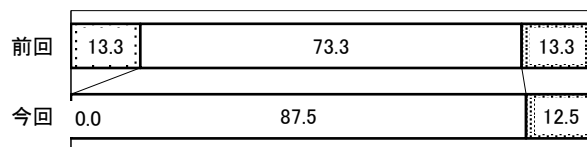
- ・D I 値は、電気機器（23.8）、金属製品（11.8）、輸送用機器（10.5）、樹脂製品（3.2）、一般機器（1.4）の5業種でプラスとなり、精密機器（▲6.3）、鉄鋼・非鉄（▲12.5）の2業種でマイナスとなった。
- ・D I 値を前回と比較すると、電気機器（15.1ポイント）、輸送用機器（10.5ポイント）、金属製品（6.9ポイント）、精密機器（5.4ポイント）の4業種でプラスとなり、樹脂製品（▲0.1ポイント）、一般機器（▲4.3ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲12.5ポイント）の3業種でマイナスとなった。

(4) 資金繰りについて

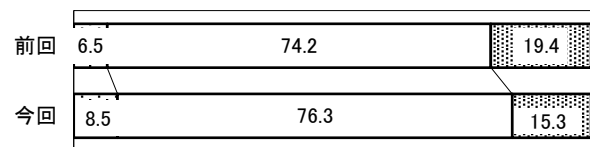
①全体 253件



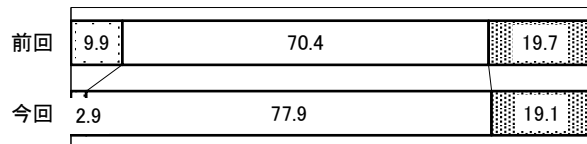
②鉄鋼・非鉄 16件



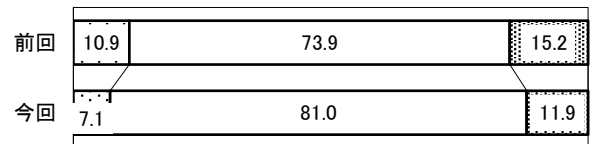
③金属製品 59件



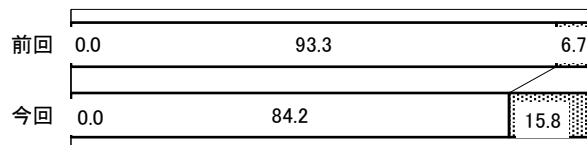
④一般機器 68件



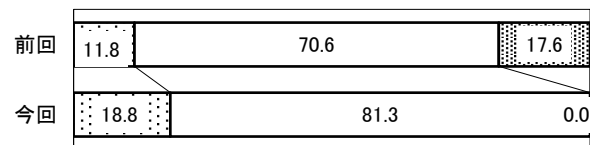
⑤電気機器 42件



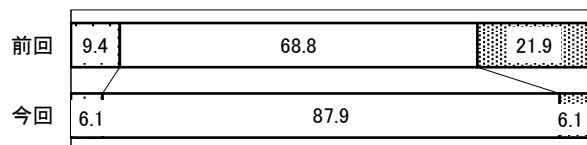
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 33件



○全体

- ・4月～6月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲7.5となり、前期（1月～3月期）のD I 値 ▲8.9と比べて1.4ポイント増加し、前回調査時より改善した。

○業種別

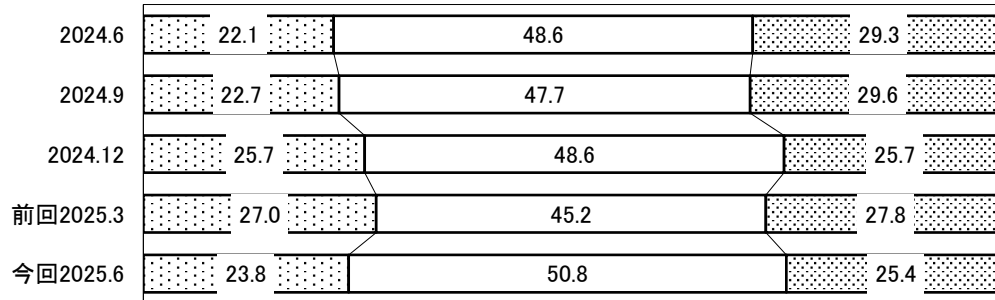
- ・D I 値は、精密機器（18.8）の1業種でプラスとなり、電気機器（▲4.8）、金属製品（▲6.8）、鉄鋼・非鉄（▲12.5）、輸送用機器（▲15.8）、一般機器（▲16.2）の5業種でマイナス、樹脂製品の1業種のみ±0となった。
- ・D I 値を前回と比較すると、精密機器（24.6ポイント）、樹脂製品（12.5ポイント）、金属製品（6.1ポイント）の3業種でプラスとなり、電気機器（▲0.5ポイント）、一般機器（▲6.4ポイント）、輸送用機器（▲9.1ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲12.5ポイント）の4業種でマイナスとなった。

(5) 採算状況について

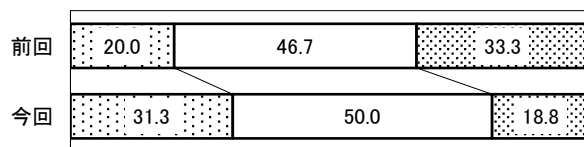
①全体 252件

□黒字 □収支トントン □赤字

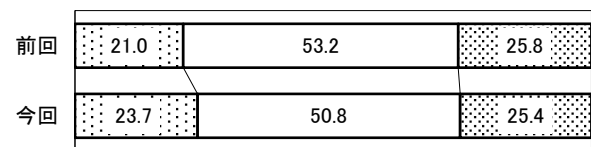
(%)



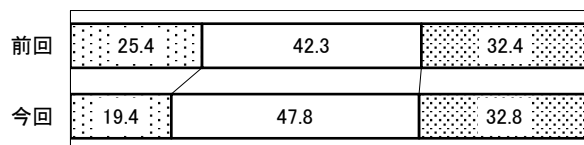
②鉄鋼・非鉄 16件



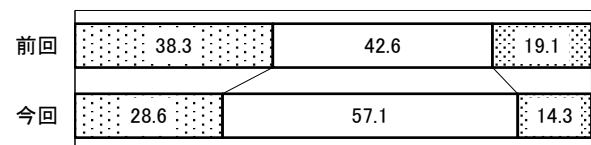
③金属製品 59件



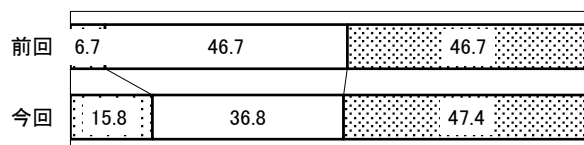
④一般機器 67件



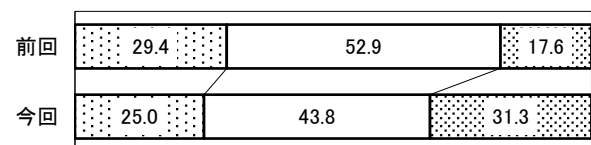
⑤電気機器 42件



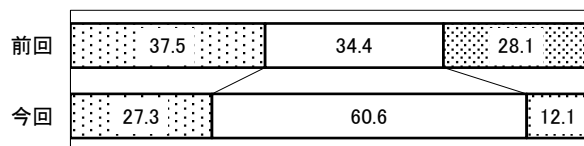
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 33件



○全体

- ・4月～6月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲1.6となり、前期（1月～3月期）のD I値▲0.8と比べ0.8ポイント減少、前回調査時より悪化した。

○業種別

- ・D I値は、樹脂製品（15.2）、電気機器（14.3）、鉄鋼・非鉄（12.5）の3業種でプラスとなり、金属製品（▲1.7）、精密機器（▲6.3）、一般機器（▲13.4）、輸送用機器（▲31.6）の4業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（25.8ポイント）、輸送用機器（8.4ポイント）、樹脂製品（5.8ポイント）、金属製品（3.1ポイント）、の4業種でプラスとなり、電気機器（▲4.9ポイント）、一般機器（▲6.4ポイント）、精密機器（▲18.1ポイント）、の3業種でマイナスとなった。

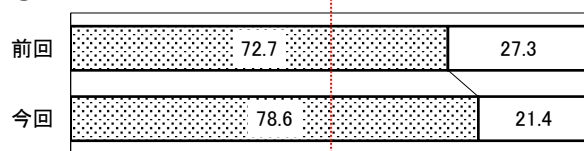
(6) 受注余力について

(%)

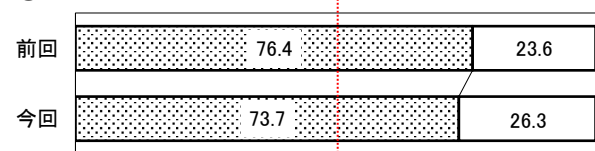
①全体 244件



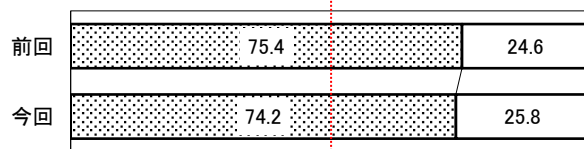
②鉄鋼・非鉄 14件



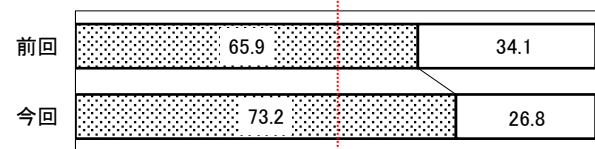
③金属製品 57件



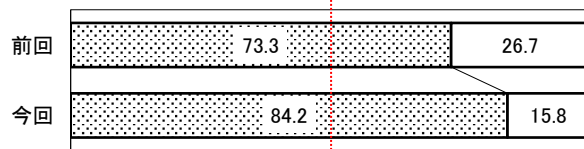
④一般機器 66件



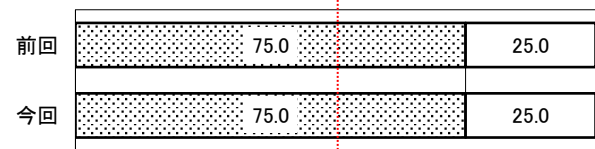
⑤電気機器 41件



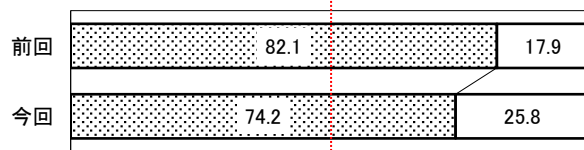
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 31件



○全体

- ・4月～6月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた増加）は50.0となり、前期（1月～3月期）のD I値48.8から1.2ポイント増加、前回調査時より悪化した。
- ・4月～6月期は「受注余力あり」とする企業が75.0%と、前期の74.4%より0.6ポイント増加となった。
（受注余力あり」の割合が減少した＝プラス傾向）

○業種別

- ・D I値は、輸送用機器（68.4）、鉄鋼・非鉄（57.2）、精密機器（50.0）、一般機器（48.4）、樹脂製品（48.4）、金属製品（47.4）、電気機器（46.4）の7業種全てでプラスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（21.8ポイント）、電気機器（14.6ポイント）、鉄鋼・非鉄（11.8ポイント）の3業種でプラスとなり、一般機器（▲2.4ポイント）、金属製品（▲5.4ポイント）、樹脂製品（▲15.8）の3業種でマイナスとなり、精密機器の1業種で±0となった。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E - mail : m a r k e t @ k i 2 1 . j p

U R L : h t t p : // w w w . k i 2 1 . j p